

# 島根県森林審議会（平成28年度第1回）議事録要旨

■日時 平成28年10月19日（水）10:00～15:40

■場所 松江バイオマス発電(株)外

## ■出席者

【委員】伊藤委員（会長）、広江委員、立石委員、吉川委員、浦田委員、田中委員、田代委員、樋口委員

【事務局】山口農林水産部次長、桑本林業課長、前島森林整備課長、大國木材振興室長、持田東部農林振興センター所長、長野農林水産総務課管理監、外関係職員

## ■審議会の概要

### 1. 開会

2. あいさつ 山口農林水産部次長

3. あいさつ 伊藤会長

### 4. 委員辞任に伴う新委員の紹介

前任委員：佐藤委員、後任委員：吉川委員

### 5. 日程説明

### 6. 現地調査の趣旨説明

(1) 新たな農林水産業・農山漁村活性化計画第3期戦略プランについて（説明：内藤企画幹）**資料1**  
・第3期戦略プランと循環型林業における現地調査地の位置づけについて説明。

(2) 木質バイオマスの利用について（説明：大國木材振興室長）**資料2**  
・H27年度に県内で年間約40万m<sup>3</sup>の原木を生産、約20万tの林地残材が発生、うち約8割の15.5万tを、県内2箇所の木質バイオマス発電所や三隅火力発電所の混燃、温浴施設等で利用。

(3) 苗木生産について（説明：松村森林育成・間伐GL）**資料3**  
・県内の苗木生産量は、近年80万本程度で推移していたが、H27年度は106万本に増加。

(4) 林業就業者について（説明：永瀬森林組合・担い手育成GL）**資料4**  
・H27年度は、県内2箇所の木質バイオマス発電施設が稼働し、新規林業就業者は125人に増加、林業就業者数も926人に増加。

### 7. 現地調査

(1) 松江バイオマス発電(株) 松江バイオマス発電所（松江市大井町）

・林地残材等未利用材のバイオマス利用の取り組み状況を現地調査



燃料チップヤード



トラックダンパースケール

### 【主な質疑】

Q 1. 燃焼灰はどれくらい発生するか。また、その処理方法は。

A 1. 燃焼灰の量は、燃料用チップの約1.5%で、1日当たり3.0～3.5 t程度発生。  
現在は路盤材として活用。

### (2) 野呂樹苗生産組合 苗圃 (松江市東出雲町)

- ・ 再生林のための優良苗木生産の増産に向けた取り組み状況を現地調査



山行苗の育苗状況



播種床の育苗状況

### (3) 松江森林組合・須佐チップ工業(有) 松江木材流通センター (松江市馬潟町)

- ・ 木材の流通と燃料用チップ生産の拠点施設での取り組み状況を現地調査



チップヤード等の施設



移動式チップパー

### (4) (公社) 島根県林業公社 島根県林業労働力確保支援センター (松江市黒田町)

- ・ 循環型林業を支える林業就業者の確保・育成の取り組み状況の説明



林業就業者対策の説明

## 8. 閉 会